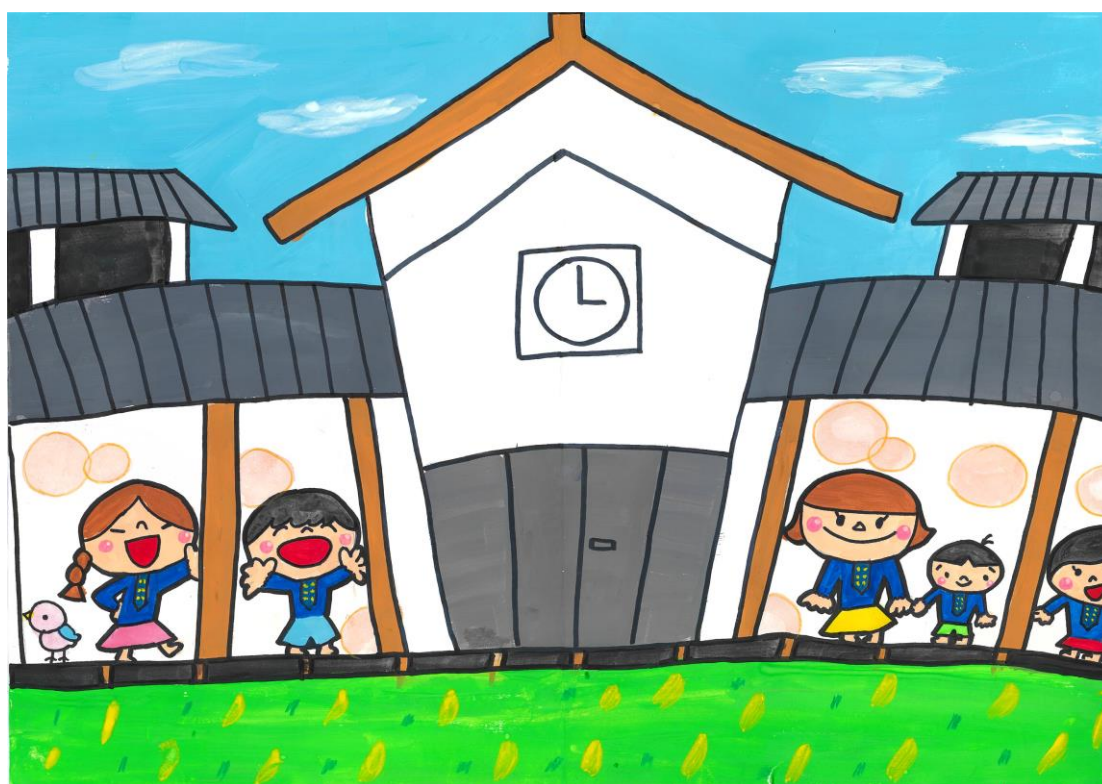


令和5年度

# 北保育園 SDGs



大口町立北保育園

### <はじめに>

様々な企業や団体が取り組みはじめ、メディアでも多く取りあげられるようになった“SDGs（持続可能な開発目標）”

令和3年度より、町立保育園・児童センターがSDGsの17の目標の中からそれぞれ目標を掲げ、SDGsの取り組みを始めた。

大口町全体として「11. 住み続けられるまちづくり」を目標として掲げ、加えて北保育園は園舎が建て替えられ、木造園舎であることや大口町が継続して“木育”に取り組んでいることから、「12. つくる責任 つかう責任」「15. 陸の豊かさを守ろう」を目標とすることにした。

今までの木育年間計画を、SDGsを意識したものに捉えなおしをし、また、SDGsについても、生活の中で保育士や子どもたちが意識していけるように普段の保育の中で取り組めることを進めていくことにした。

### <経過>

今年度最初にKPT法を用いて令和4年度の振り返りをした。課題や今年度に向けての取り組みとして次のような意見が挙がった。

- ・まだ手を付けていない箇所（遊戯室前の回廊外階段）をきれいにする。
- ・計画的に保護者の方に参加してもらえるようにする。
- ・未満児の職員も一緒に以上児のぴかぴかだいさくせん！に参加できるとよい。
- ・木育活動を含めたもくもくの日の年間活動を計画する。
- ・子どもと遊びながら、楽しんで行うことができる木育活動がしたい。（もくもくの日の活動など）
- ・地球にやさしい北保育園について、子どもたちに知らせていく。（紙芝居）新しい職員にも知らせていく。

上記の課題や新たな取り組みに向けて、職員間で意見を出し合い、令和5年度の年間活動計画を作成し、取り組んでいくことにした。

『もくもくの日』の活動として

- ・ネーミングを「ウルトラぴかぴかだいさくせん！」とし、手を付けていない箇所（遊戯室前の回廊外階段）をきれいにする。引き続き子どもも保育士も楽しみながらできる工夫をする。
- ・保護者にも「ウルトラぴかぴかだいさくせん！」に参加してもらい、取り組みに関心をもってもらう。
- ・地域の方に『もくもくの日』の活動を知ってもらい、参加してもらう。
- ・“地球にやさしい北保育園”を子どもたちに分かりやすく伝える。



# ①ウルトラぴかぴかだいさくせん（回廊前外階段をきれいにする）

令和5年度は、遊戯室回廊前の外階段をきれいにすることにした。

ブラシがけで汚れを落とそう！



なかなか汚れが落ちないなあ…

力を入れると綺麗になってきたよ

水が真っ黒になってる！こんなにも汚れがあったんだね！

遊戯室前の外階段は、汚れが多い場所であったが、根気よく行うことで、黒かった汚れが落ち、徐々に白くなった。



手はまっすぐ動かすと痛くならないよ  
綺麗になると気持ちがいいよね！  
今度一緒にやってみよう～



“学ぶは真似る”年下の子が年上の子の様子を見て、やり方を覚え、一緒に行った。



お兄さん・お姉さんたちはどうやって  
ブラシがけしているんだろう…？

ここをこうするといいよ！  
わからないことがあったら何でも聞いてね







何してるのかな～？  
なんだか、楽しそう☆

私たちがブラシがけが  
できるようになったね♪

ウルトラぴかぴか大作戦をしているよ♪  
みんなで保育園を綺麗にしていこうね☺



戸外遊びの時間にも積極的にブラシがけを行  
う姿が見られ、日常の光景となった。



どんどん色が変わってきたね♪



紙やすりがけで手触りを良くしよう！

ブラシがけの次はやすりがけだね☆  
ざらざらだと痛いからつるつるにしよう！

やすりがけは、範囲を決めて順次行っている。未  
満児クラスの子どもたちも、以上児のぴかぴか大作  
戦の様子をよく見ており、興味をもっていた。



“物を大切にし、相手を思いやる心を育てる。”  
をねらいに、今後も継続して、園舎をきれいに  
していきたいと思う。

つるつるで気持ちがいいね～♪  
ずっと触っていたいね

大好きな保育園をこれからも大切に





## ②地域の方と木育活動

毎月第3木曜日に計画

年間計画をたて、一緒に遊び交流を深めた。

7月20日(木) <年長>	遊戯室	・カプラで遊ぶ
8月17日(木) <年中>	遊戯室	・けん玉・木片削り
9月21日(木) <年長>	遊戯室	・ラッキーパズル・木片削り
10月19日(木) <年中>	もくもく広場	・カプラで遊ぶ
11月16日(木) <あひる組 2歳児>	もくもく広場	・つみき遊び
12月21日(木) <年中・年長>	遊戯室	・自然物で遊ぶ(どんぐり、まつぼっくり)
1月18日(木) <年少・年中>	もくもく広場	・正月遊び コーナー遊び
2月15日(木) <年中>	遊戯室	・MOTTAINAI(もったいない)工房

7月

カプラ



こうやると高く積めるよ！  
一緒にやろう！



けん玉

8月



見て見て！  
こんな技もできる  
ようになったよ！

けん玉上手だなあ

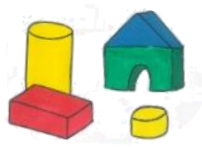
9月

ラッキーパズル



意外と難しいなあ

こうしたらできるん  
じゃない？



一緒にパズルで  
あそぼうよ！

11月

型はめパズル



10月

カプラ



もっと高く  
積み上げるぞ！

ぼくの背より  
大きいね！

始めたころは、参加者が1、2名程であったが、回数を重ねるごとに少しずつ認知度が上がり、参加者が増えてきた。また、「もくもくの日」を楽しみにしてくれる姿も見られた。



12月

もくもくの日に楽しみにしている地域の方が準備を手伝ってくれました。



上手につくるなあ



まつぼっくりが  
かわいいツリーに大変身！

製作で使う松ぼっくりにカラースプレーで色付けをしてくださったり、“どんぐり釣り”という遊びを作って持ってきてくださったりと手助けや協力をしてくださいました。

福笑い



1月

こまにひもを巻いて  
からまわすんだよ

こま回し



どうやって  
まわすのかな？

おもしろい顔  
になってる！！



2月

MOTTAINAI 工房



何の形に見えるかな？

組み合わせたら何に  
なるだろうか？



正月が近かったので、地域の方に感謝の気持ちを込めて年賀状を渡しました。

子どもたちは地域の方に沢山遊んでもらったり、褒めてもったりして嬉しそうな表情であった。昔ながらの遊びを教えてもらうだけでなく、時には子どもが大人に遊び方を教えるといった姿もあり、ぐっと距離が縮まった。



### ③地球にやさしい北保育園

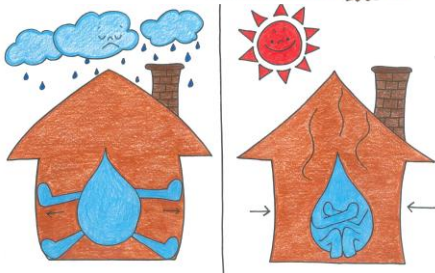
手作り紙芝居を使って、子どもたちにわかりやすく伝えていった。



#### 北保育園建設についての話



#### 木造園舎の特徴について



そうやって  
できたんだ～！

北保育園の園舎は、環境に配慮された工夫や気持ちよく生活ができる工夫がされていることを知り、「北保育園ってすごい！」と感心する様子が見られた。

#### 年長児への 読み聞かせ



夏は涼しくて  
冬は暖かい？



#### 風についての話



寒いから、風を  
通さないように  
しよう！



#### 未満児も木造園舎に親しんでいます



広い回廊で  
かけっこ、楽しいな♪



大きいね～！



## <考察>

回廊外階段をきれいにする「ウルトラぴかぴかだいさくせん！」を今年度は「もくもくの日」の活動として行った。汚れを落とすブラシ掛けは、昨年度同様に水遊びを兼ねて子どもたちが楽しみながら取り組めるよう計画した。汚れを落とす→紙やすり掛けをして表面を削る→油で塗装するという一連の作業をする中で、保育士や年長児が行う様子に年少児や未満児が興味を持ったり、年長児や年中児がブラシ掛けや紙やすり掛けの仕方を年少児に教えたりする姿があった。まさに“学ぶは真似る”となり、育ってほしい子どもの姿につながっていると感じている。

今回、遊戯室前の回廊外階段を作業範囲としたが、思いのほか汚れがひどくブラシ掛けの工程が思うように進まなかった。当初の計画では昨年度同様、保護者に紙やすり掛けをしてもらう予定だったが、作業の遅れから参加が難しかった。

新たな取り組みとして、地域の方との木育活動を計画し、交流する機会を設けた。北保育園は園舎内に地域の方に利用していただく、ふれあいスペース「あやとり」がある。コロナ禍で地域交流の機会が減っていたが、保育園にまた足を運んでもらい、園児との交流を楽しんでもらえるよう、年間活動計画を立てた。様々な機会で「北保育園ふれあい交流会」や「きたきた食育サポート」、民生委員の方々に声をかけたり、活動予定表を配ったりとPRし、参加者も徐々に増えていった。

“自然物で遊ぶ”活動の際には、地域の方から木の実などの材料や遊びの提供があったり、色付け作業などの協力が得られたりと遊びに参加するだけでなく、子どもたちのために準備から関わってもらえたことは大きな成果といえる。子どもたちは地域の方の顔や名前を覚え、回を重ねるごとに交流を深めることができた。

今年度、「木育サポーター」の構築を計画していた。「地域の方ともくもくの日」の交流の中で、作業準備や手作り玩具の提供などしていただくことが「木育サポーター」のきっかけづくりとなったように思う。今後も毎月第3木曜日は「地域の方ともくもくの日」を定着させ、地域に開かれた保育園となるよう活動を継続していきたい。

最後に“地球にやさしい北保育園”を、子どもたちにわかりやすくどう伝えていくかが課題であったが、前年度に保育士が作成した紙芝居を使い、要点を絞って子どもたちに伝えていった。北保育園の建設についての話はここ数年、年長児に当時の写真を見せながら話をしている。今回の“地球にやさしい北保育園”についても年長児を対象に話をしていくことにした。一回目は「北保育園が木造園舎であること」「木造建築の良さについて」、二回目は「通風口について」の話をした。わかりやすいよう工夫しながら、省エネ、CO2削減、地球温暖化などにも

触れることができた。いつも職員が行っていた回廊下の通風口に蓋をする作業を、今回年長児と一緒にいった。実際に通風口を間近で見て、蓋をすることを体験することで、より理解が深まり記憶に残るものになったのではないかと思う。自分たちが過ごしている保育園が「環境にやさしい」「地球にやさしい」園舎ということを理解し、より園舎を大切に使い続けていこうという意識が高まっていったと感じている。

SDGs の取り組みを進めて3年、北保育園が掲げた目標の達成に向け、木育活動を主とした活動や日頃の保育を SDGs に捉えなおしをしながら取り組んできた。子どもたちにどのように伝えていこうか、子どもたちとどんなことができるのかなど、職員が学びを深め、話し合いを重ねることから始めた。

「びかびかだいさくせん！」を始め、「もくもくの日」「いすやマイ箸のメンテナンス」「空間ケア」「地球にやさしい北保育園の活動」を通して、『園舎を大切にする』『物を大切に扱う』『相手を思いやる』といった気持ちが、生活の中で自然と育ってきた。さらには、地域交流へとつながり、地域に開かれた保育園、みんなの北保育園となりつつある。

これらの活動が特別なことではなく、日常となってきたことが3年間の大きな成果だと感じている。今後も継続していきながら、子どもたちや保護者、地域の方々と共に、身の丈でできる SDGs に取り組んでいきたい。